

きずな 絆

令和3年5月21日

北九州市立赤崎小学校

校長 二宮 利之

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

コロナ禍でも、

「学びをとめない」を合言葉に！

コロナウィルス感染予防のため、保護者の皆様には、お子様の学習の様子を参観していただけない状況がずっと続いています。

今年度は、コロナ禍でも、感染予防の手だてをしっかりととりながら、一人一人の学びを止めない、学力もしっかり定着させることを大切に取り組んでいます。

一年生も、学校生活に慣れ、給食の準備なども戸惑いなくできるようになってきました。まだまだ、「足はペタッ。背筋はピン。」

などと繰り返し声をかけ集中させながら、文字をたくさん学ばせています。



【一年生の学習の様子】 一人一人の机を回りながらの指導。先生の言葉への集中もよくなりました。両学級とも、後ろの黒板に、覚えたいところがたくさん掲示されています。

他学年も、ALTを助手に、外国語科の授業が着実に進められています。アクティブに楽しそうに学びが進め

られています。三年生の体育科授業は、専科教員と担任が協力して行っています。



【五年生外国語科の学習の様子】



【体育専科教員との授業の様子】

コロナ禍でも、楽しく、実りある授業を展開しています。

★赤崎小学校からのお願い★

① 児童の安全確保のために、携帯電話を

学校に持たせることをお考えのご家庭に

様々な事情により、携帯電話を学校に持ってくる児童が、本校にもいます。「学校に来たら職員室に預ける」「自分の安全を守るために必要な連絡を取る時だけに使う」ことが原則です。ところが、

- 音楽を流しながら、登校する。
- イヤフォンを耳に付けて、何かを聞きながら登校してくる。
- 帰りながら、携帯電話をもっている者同士が、LINE 等なのか、何かを交換し合っている。
- 歩きながら、通話をしている。

という姿が少なからず、見られます。安全を守るための道具が、もってくることで登下校中の周りに注意するなどの安全意識を、かえって下げてしまっている心配な状況です。

今年度からは、保護者と校長との面談による許可制としました。緊急事態宣言下ですので、状況に応じて、面談にも配慮・工夫をしておりますが、現状をご理解いただき、よろしくご協力ください。

これをよい機会に、上記のことについて、お子様とも、再度話し合い、確認していただけると助かります。

② 非常時における児童の学習保障のための オンライン授業を実施する可能性があります。

市内のいくつかの学校では、濃厚接触者等になり、大事を取って学校を休まなければならない児童が始め出ています。北九州市では、「学びを止めない」を合言葉に、できる限りの学習支援を行ってまいります。

本校においても、そのような児童に対して、

- ① プリント等を届ける。
- ② タブレット端末内のソフトを活用する。
- ③ タブレットを活用し、オンラインでいくつかの授業を参観する。

等の手だてを考えています。対象となっている保護者と相談をしながら、可能なことを行ってまいります。

裏面のオンライン授業実施の際のお願いを、ご熟読いただき、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、オンライン授業のイメージを掲載しますので、こちらをご覧ください。

オンライン授業システムイメージ



オンライン授業の際に、家庭で必要になる機器

